

EGOTERIC

G-25U

取扱説明書

目次

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

エソテリック製品は、最良の音質で未永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

未永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

特長	3
安全にお使いいただくために	4
お使いになる前に	7
使用上の注意	
お手入れ	
設置について	
電源の極性管理について	
接続	8
各部の名称	10
クロックジェネレーターの使い方	11
アップコンバーターの使い方	12
困ったときは	13
仕様	14
保証とアフターサービス	15

特 長

G-25Uは、高精度水晶発振器を用いたワードクロック生成機能と、デジタルオーディオ信号を最大192kHzまでアップコンバートするDDコンバータ機能を併せ持った装置です。この2つの機能により、外部同期クロック入力機能を持った機器はもちろん、外部クロック入力機能を持たない機器の信号でも、高精度クロックに同期したものに交換することができます。

また、G-25Uの水晶発振器を外部からの高精度クロックに同期させることも可能ですので、ルビジウムなどを用いた超高精度クロックを接続することにより、更なるグレードアップが可能です。

クロックジェネレーター機能

本機の基準となるマスタークロックには、選別された高精度水晶発振器が使われています。この水晶発振器は温度特性に優れ(0°C~50°Cで±1.0ppm)、製品出荷時に、1台1台調整され中心周波数±1.0ppmにて出荷されます。

内蔵の高精度水晶発振器から、外部機器の基準クロックとなるワードクロックが生成されます。マスタークロックを44.1kHz系列/48kHz系列から選択し、3系統あるワードクロックの出力は、それぞれマスターで選択した周波数(44.1/48kHz)の1倍、2倍、4倍を選択可能です。倍数は3系統独立して設定できますので、接続する機器にあった出力が選べます。

アップコンバーター機能

本機は、高精度水晶発振器とDSRLL回路*を用いることにより、デジタル音声入力端子から入力されたデジタル信号を、可聴帯域に発生するジッターを激減させると同時に最大192kHzまでアップコンバートして出力します。

また、内蔵のクロックによって、外部クロック入力機能を持たない機器の出力も、高精度クロックを用いたデジタルオーディオ信号にして出力することが可能となります。(ダウンコンバートも可能です)

また同時に、アップコンバートされたオーディオ信号をAES3 DUALフォーマットで出力することもできます。

- * DSRLL : Digital Servo Ratio Locked Loop
デジタル信号の可聴帯域ジッターを1/100以上も激減させるESOTERIC独自の回路です。G-25Uの高精度水晶発振器に加えDSRLLを用いることにより、音楽表現において重要な空間情報を正確に再現し、まさに次元の異なる音場、見通しを実現します。

入力端子：3系統 (COAX 1, COAX 2, OPTICAL)

入力信号：S/PDIFフォーマット

出力端子：4系統 (XLR1, XLR2, COAX, OPTICAL)

XLR1, XLR2はDUALとして使用可能。

出力信号：S/PDIFフォーマット, AES3 DUALフォーマット

外部同期機能

内蔵される高精度水晶は、外部からのワードクロックに同期することも可能です。

ルビジウム発振器などを接続し、さらに高精度な外部クロックに同期させることで、より一層のクオリティアップが期待できます。

入力端子：BNC

入力信号：0.5Vp-p/75Ω

(44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz/10MHz)

ESOTERICオリジナル、金メッキ端子装備

BNC/RCA端子およびXLR端子のピンにも金メッキ処理を施したESOTERICオリジナルの端子を装備しました。これらの端子がリアパネルに強固に固定され、確実なコンタクトを実現すると共に、重量のあるハイエンドケーブルの取り付けにも余裕を持って対応します。

洗練されたデザインと剛性ボディコンストラクション

筐体構造は、インナーシャーシに1.2mm厚の鋼板、フロントパネルには15mm厚のアルミ材を採用し、さらに理想的な設置環境を構築する3点支持の焼入鋼ピンポイントフットを配置しました。筐体振動、外部振動を減少させることによりクロック精度に影響を与える微小振動を遮断し、発振器の持つポテンシャルを最大限生かします。

また、高さは2U(約90mm/本体)サイズ、気品あるアルミショートスクラッチ仕上げの肉厚フロントパネルと相まって、ESOTERIC上位機種と同様の洗練されたデザインを醸し出しています。

操作が容易でユーザーフレンドリーなフロントパネル

全ての機能をフロントパネルに配されたボタンを押すだけで簡単に制御でき、視認性の良い表示部により動作状況が一目で確認できます。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



一般的な注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



電源プラグをコンセントから抜け



一般的な強制



警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。



万一、異常が起きたら

煙が出たり、変なにおいや音がするときは。

機器の内部に異物や水などが入ったときは。

この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。

すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社サービス部門に修理をご依頼ください。

 警告	以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
	<p>電源コードを傷つけない。 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。 コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社サービス部門に交換をご依頼ください。</p>
	<p>電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。</p>
	<p>交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>
	<p>この機器のカバーは絶対に外さない。 カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または弊社サービス部門にご依頼ください。</p>
	<p>この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。 ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>

安全にお使いいただくために

 注意	
以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。	
	<p>オーディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。</p> <p>また、接続は指定のコードを使用する。</p>
	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。</p> <p>湿気やほこりの多い場所に置かない。</p> <p>調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。</p> <p>火災・感電やけがの原因となることがあります。</p>
	<p>電源コードを熱器具に近付けない。</p> <p>コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>
	<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。</p> <p>コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p>
	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。</p> <p>コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。</p>
	<p>お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>

使用上の注意

- 組み合わせて使用するシステムのそばの安定した場所に設置してください。
- 本機の上には物を置かないでください。上に布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上に置かないでください。
- CD、CD-R、カセットテープなど、熱に弱いものを本機の上に置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 極端に温度が低い場所や、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
- 本機の近くにチューナーやテレビを置くと、ノイズが混入することがあります。それらの機器とは離して置かず、電源を切ってください。

お手入れ

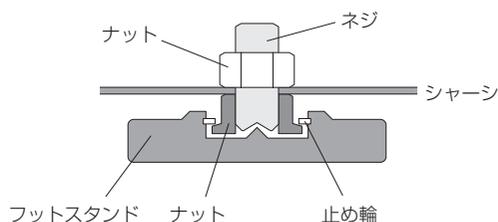
トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

設置について

本機の脚は、設置前はぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になります。

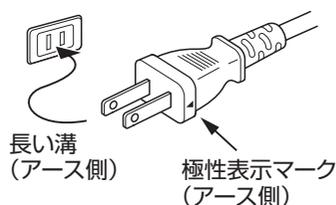


- 本機は大変重いので、設置の際は、けがをしないように十分ご注意ください。
- 本機のフットスタンドは鉄製です。傷付きやすい場所に設置する場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

電源の極性管理について

本機はより良い音質を得るために、電源の極性管理をしています。電源コードのプラグ部分に、極性管理用の極性表示マーク(▲)が付いています。本機では、印の付いている方がアース側です。

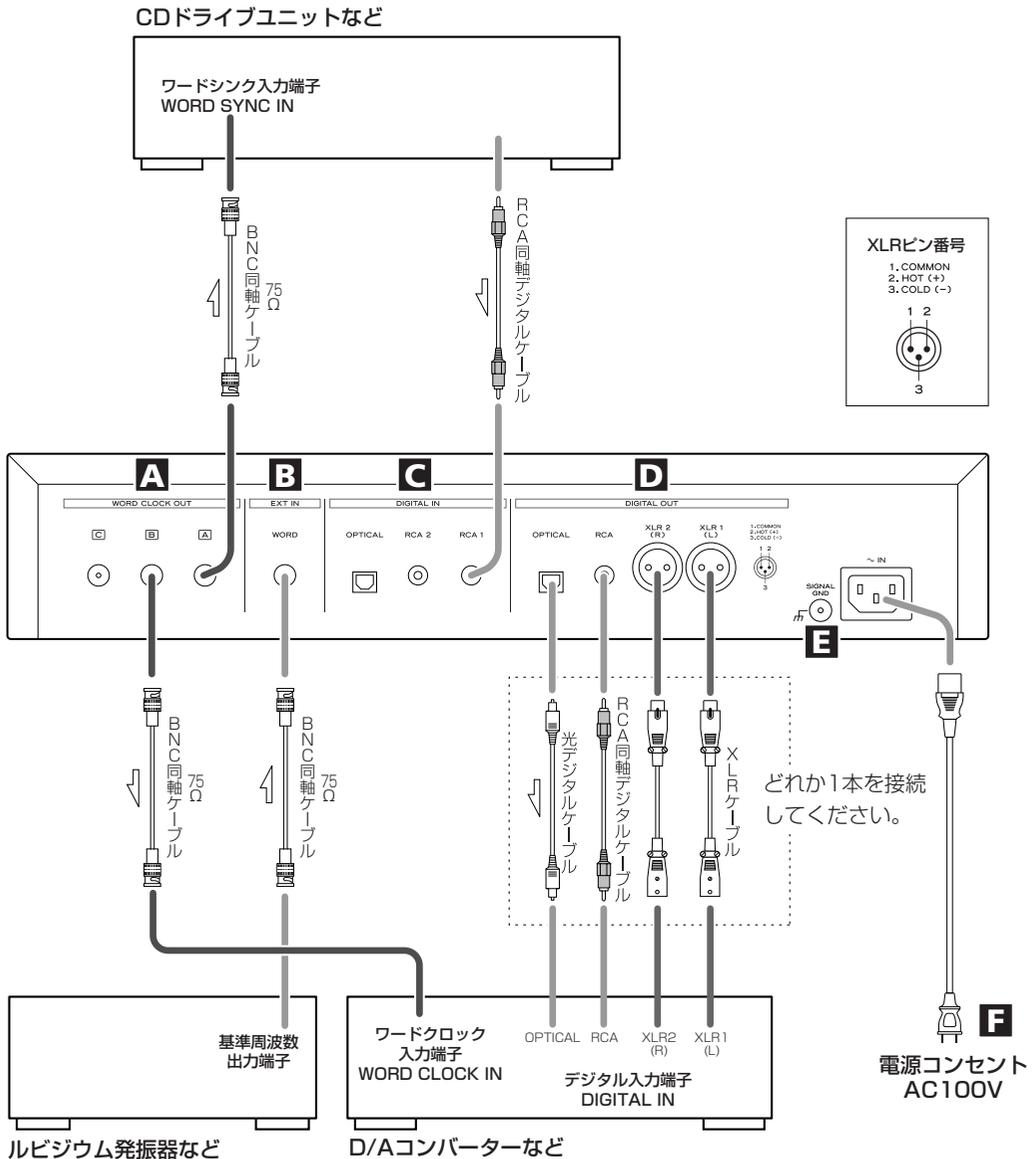
一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。極性表示マークが付いている側の差し込み刃をコンセントの長い溝の方に差し込んでください。なお、極性管理されていない電源コンセントに接続するときは、電源プラグを逆に差し込んでみるなどの方法で音質の良い方を選択してください。



接 続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



A ワードクロック出力端子

[WORD CLOCK OUT]

ワードクロック(同期信号)を出力します。
ワードシンク機能を使うときは、本機のWORD CLOCK OUT端子とデジタル機器(CDドライブユニット、DAコンバーターなど)のワードシンク入力端子を、市販のBNC同軸ケーブル(インピーダンス 75Ωのもの)で接続してください。

- ワードシンク以外の接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- A、B、C各系統のそれぞれで、周波数 1倍/2倍/4倍の切替ができるので、例えば88.2kHzの機器と176.4kHzの機器を一台のG-25Uに接続して同期させることができます。切替はフロントパネルのA、B、Cボタンで行ってください。

B 外部基準信号入力端子 [EXT IN]

外部から基準信号を入力して使用する場合は、基準信号発振機器の出力端子と本機のEXT IN端子を、市販のBNC同軸ケーブル(インピーダンス 75Ωのもの)で接続してください。

入力可能な周波数は、10MHz、44.1kHz、88.2kHz、196.4kHz、48kHz、96kHz、192kHzです。

C デジタル音声入力端子 [DIGITAL IN]

デジタル信号を入力します。本機のデジタル入力端子(RCAまたはOPTICAL)を、デジタル機器のデジタル出力端子と接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。

- RCA : RCA同軸デジタルケーブル
- OPTICAL : 光デジタルケーブル

D デジタル音声出力端子 [DIGITAL OUT]

本機のデジタル出力端子(XLR、RCA、OPTICAL)を、D/Aコンバーターなどのデジタル入力端子と接続します。

接続には市販のケーブルをお使いください。

- XLR : バランス型XLRデジタルケーブル
- RCA : RCA同軸デジタルケーブル
- OPTICAL : 光デジタルケーブル

- XLR1(R)とXLR2(L)はDual AES対応です。お手持ちのデジタル機器がDual AESに対応している場合は、2本のケーブルを使って本機のR端子とデジタル機器のR端子、本機のL端子とデジタル機器のL端子をそれぞれ接続し、本体前面のアップコンバートボタンでDUALを選んでください。

- 本機の光デジタル端子はシャッター式です。接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと、端子が変形してシャッターが閉まらなくなることがありますのでご注意ください。

E アース端子[GND]

接続したデジタル機器と、市販のビニール電線を使ってアース接続すると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

F 電源コード

電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

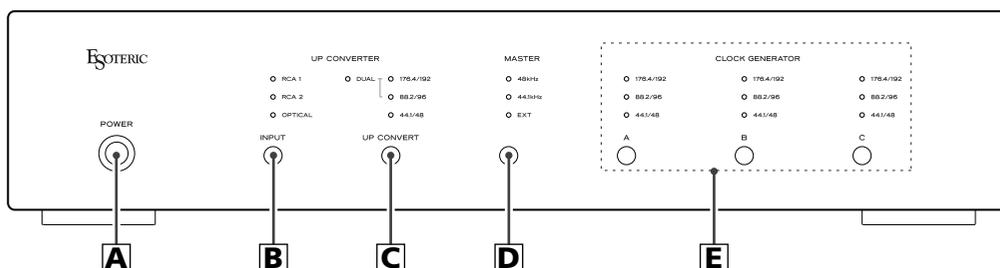
- 本機の電源コード接続ソケットは3ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

エソテリックでは、リファレンスとしてエソテリック MEXCEL ストレスフリー7Nケーブルを使用しています。エソテリック MEXCELケーブルシリーズは、以下のものが発売されています。

- | | |
|--------------|-------------|
| RCAオーディオケーブル | XLRデジタルケーブル |
| XLRオーディオケーブル | BNCデジタルケーブル |
| RCAデジタルケーブル | スピーカーケーブル |

各部の名称



A 電源ボタン [POWER]

電源のオン/オフを切り換えます。電源がオンのときは、ボタンの周囲が青く光ります。

B アップコンバーター 入力切替ボタン

デジタル入力を切り換えます。選択したデジタル入力のインジケーターが点灯します。

C アップコンバートボタン

アップコンバートして出力するときの、サンプリング周波数を切り換えます。マスターボタンで選択した周波数の系列(44.1/88.2/176.4または48/96/192)の信号にアップコンバート(またはダウンコンバート)されます。

D マスターボタン

ワードクロックとアップコンバートの基準周波数を選びます。

48kHz

内蔵の水晶発振器で48kHzの基準周波数信号を作成します。DVD再生機器、DATレコーダーなど48kHzで動作する機器と接続している場合を選んでください。

44.1kHz

内蔵の水晶発振器で44.1kHzの基準周波数信号を作成します。CD再生機器など44.1kHzで動作する機器と接続している場合を選んでください。

マスターボタンを2秒以上押すと、EXTモードのオンとオフが切り換わります。

EXTモード

EXT IN端子に接続した外部機器から入力される基準信号を使う場合は、オンにしてください。オンのときは、EXTインジケーターが点灯します。

- EXTモードがオンのときに、選択されている基準周波数と異なる系列のワードクロックがEXT IN端子に入力されると、基準周波数の選択が自動的に切り換わります。
- EXTモードがオンなのに外部機器からの基準信号を検出できない場合、または本機の入力許容範囲外の信号が入力された場合は、EXTインジケーターが点滅します。その場合は、EXT IN端子に接続した機器の設定を確認してください。EXT IN端子を使用しないときは、EXTモードをオフにしてください。

E クロックジェネレーター 周波数切替ボタン

ワードクロック出力端子から出力するワードクロックの周波数を切り換えます。A、B、Cの各系統毎に、基準周波数の1倍、2倍、4倍およびオフを選択します。各々の基準周波数に対して、以下の周波数が選べます。オフのときは、インジケーターが消灯します。

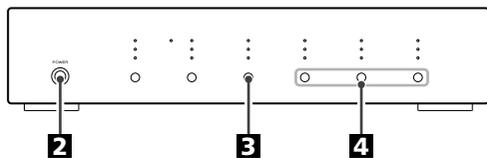
44.1kHzのとき：

44.1kHz、88.2kHz、176.4kHz

48kHzのとき：

48kHz、96kHz、192kHz

クロックジェネレーターの使い方



1 本機のWORD CLOCK OUT端子と各機器のWORD SYNC IN端子を、BNC同軸ケーブルで接続する。

- 同期信号以外の接続については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

2 本機の電源ボタンを押して、電源をオンにする。



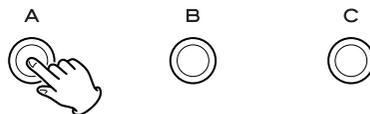
電源ボタンの周囲と各インジケーターが点灯します。

3 マスターボタンを押して、基準周波数を選ぶ。



接続した機器でCDを再生する場合は44.1kHz、DVDを再生する場合は48kHzを選んでください。

4 A、B、Cのボタンで、接続した機器が受けられる周波数を選ぶ。



- 接続した機器が受けられるもっとも高い周波数に設定することを推奨します。

エソテリックのワードシンク可能な機器と接続した場合

P-0/P-0s : 44.1kHz

P-70 : 88.2kHz

P-0sバージョンアップ/D-70バージョンアップ/

P-70バージョンアップ/X-01 : 176.4kHz

UX-1 (CD再生時) : 176.4kHz

UX-1 (DVD再生時) : 192kHz

5 各機器の電源をオンにして、シンク動作をオン(スレープ動作)にする。

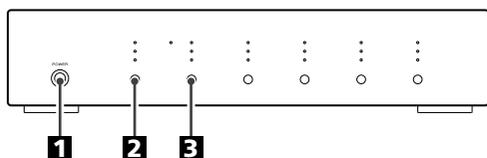
エソテリックのワードシンク可能な機器と接続した場合

- P-70/P-70バージョンアップは、フロントパネルにあるWORD SYNCスイッチをONにし、背面のPLL フィルタースイッチを「MODE 2」にします。
- P-0/P-0sはリモコンのSYNCボタンでWORD SYNCをオンにします。
- P-0sバージョンアップは背面にあるWORD SYNCスイッチをONにします。
- D-70バージョンアップは、フロントパネルにあるCLOCK MODEスイッチを「WORD+RAM」にし、リモコンでワードクロックの設定を「IN M1」にします。
- UX-1は、CLOCK MODEボタンを押して「Word ON」にします。
- X-01は、CLOCK MODEボタンで「Word M1 ON」を選びます。

当社以外の機器に接続する場合は、その機器の受けられる周波数についてその機器の取扱説明書をよくお読みください。

機器によっては、ワードクロックの周波数をオーディオ信号のサンプリング周波数と同じにする必要があります。また、Dual AES接続の場合はオーディオ信号のサンプリング周波数の半分にする必要のあるものもあります。

アップコンバーターの使い方



デジタル入力端子から入力された信号のサンプリング周波数を、アップコンバートまたはダウンコンバートして出力することができます。

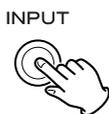
1 電源ボタンを押して電源をオンにする。



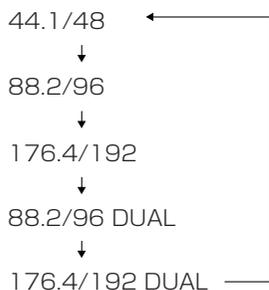
電源ボタンの周囲と各インジケーターが点灯します。

2 入力を切り換える。

INPUTボタンを押して、デジタル機器が接続されている端子を選んでください。



3 アップコンバートボタンを使って、出力するサンプリング周波数を選ぶ。



- 176.4/192 DUALを選ぶと、XLR1(R)から88.2/96kHzのRチャンネルを、XLR2(L)から88.2/96kHzのLチャンネルを出力するので、ふたつ合わせると176.4/192kHz相当になります。

88.2/96 DUALを選ぶと、XLR1(R)から44.1/48kHzのRチャンネルを、XLR2(L)から44.1/48kHzのLチャンネルを出力するので、ふたつ合わせると88.2/96kHz相当になります。

2本のXLRケーブルを使って、本機のR端子とD/AコンバーターのR端子、本機のL端子とD/AコンバーターのL端子をそれぞれ接続しておいてください。

- 176.4/192 DUALまたは88.2/96 DUALを選んだときは、RCA端子およびOPTICAL端子からはデジタル信号を出力しません。

- DUAL以外を選んだ場合(DUALインジケーターが消灯しているときは、各端子から通常のステレオモードの信号を出力します。

- 入力可能な周波数は機器によって異なりますので、接続する機器の取扱説明書でご確認ください。

- マスターボタンで44.1を選択している場合は44.1kHz/88.2kHz/176.4kHzの信号が、48を選択している場合は48kHz/96kHz/192kHzの信号が出力されます。EXTモードの場合は、入力されるクロックに従います。

- 本機のアップコンバーター機能は、リニアPCM信号にのみ有効です。ドルビーデジタルやDTSなどの再生信号を入力すると、ミュートされたり、ノイズが発生することがあります。

- HDCDの信号は、本機を経由するとD/Aコンバーター側でHDCDとして認識されなくなります。HDCDを再生するときは、本機を使わずに、再生機器とD/Aコンバーターを直接接続してください。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源が入らない。

- 電源コードの差し込みを確認してください。

同期できない。

- 同期できないワードクロックが出力されていないか確認してください。各機器の入力可能ワードクロック周波数の中から選んで入力してください。同期できるワードクロックは、各機器の接続方法や設定によっても変わる場合があるので、各機器の取扱説明書をよくお読みください。

A、B、Cボタンで希望の周波数が選べない。

- A、B、Cボタンで選ぶ前に、マスターボタンで基本周波数を選んでください。

音がおかしい。

- 接続した機器の設定および入力可能周波数をご確認ください。正しく設定しないと、音がおかしくなったり、大音量のノイズを発生することがあります。

EXTインジケータが点滅する。

- EXTモードがオンなのに外部機器からの基準信号を検出できない場合、または本機の入力許容範囲外の信号が入力された場合は、EXTインジケータが点滅します。EXT IN端子に接続した機器の設定を確認してください。EXT IN端子を使用しないときは、EXTモードをオフにしてください。

仕 様

クロック出力

44.1k系列 44.1kHz、88.2kHz、176.4kHz
48k系列 48kHz、96kHz、192kHz

端子 BNC不平衡/75Ω
出力 矩形波 (TTLレベル)

精度

±1ppm以内 (出荷時)

出力クロック安定時間

MASTER切換時出力安定まで 10秒以内

基準周波数入力

入力 44.1, 88.2, 176.4, 48, 96, 192(kHz), 10MHz (±10ppm以内)
1.4~5 V (PEAK TO PEAK) サイン波または矩形波
端子 BNC不平衡/75Ω

入力可能サンプリング周波数(kHz)

32, 44.1, 88.2, 176.4, 48, 96, 192

一般

電源 AC100V 50-60Hz
消費電力 8W
寸法(WxHxD) 440×95.5×342(mm) (突起部含まず)
質量 7.9kg

付属品

電源コード×1
フェルト×3
ご愛用者カード×1
取扱説明書×1

仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、速やかにお送りください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はご購入日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、ご購入の販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入の販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費等が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：クロックジェネレーター/デジタルアップ
コンバーター G-25U

ご購入日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

株式会社ティアック エソテリック カンパニー

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

<http://www.teac.co.jp/av>

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

電話：0422-52-5091 / FAX：0422-52-5194

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。